

資料4

報告事項

令和5年度 広島支部事業実施状況について（中間報告）



総括

- 令和5年度上期の事業の実施状況について、広島支部事業計画で定めたKPI（重要業績評価指標）19項目のうち、KPIを上回る進捗のものは7項目、下回る進捗のものは11項目となっている。
- 基盤的保険者機能関係においては、職員の意識改革の徹底及び令和5年1月に導入された新業務システムにより基本業務が標準化・効率化・簡素化され、サービススタンダード100%達成や各種手続きを迅速かつ適正に実施することができた。
- 戦略的保険者機能関係においては、健康経営の普及を促進するため、各種勧奨を行い、ひろしま企業健康宣言事業所や健康保険委員委嘱者数は着実に増加している。健診については、今年度より生活習慣病予防健診の自己負担額を軽減したことや、「健康づくりの好循環イベント」として被扶養者の特定健診を実施したこと等により、前年の同時期受診率と比較し増加している。特定保健指導についても、健診当日の保健指導の推進、遠隔面談での実施増加等により前年の同時期実施率と比較し増加している。
- 下期においても、KPI全項目の達成のほか、令和5年度広島支部事業計画に掲げた事項の達成も見据え、引き続き対策、修正を施しながら各種取組を推進する。

(1) 業務グループ

1. サービススタンダードの推進

令和5年度 KPI	実 績		
	令和5年度 (9月末)	令和4年度	<参考> 令和5年度 (9月末) 全国平均
100%	100% ○	100%	99.99%

- 健康保険給付金（傷病手当金・出産手当金・出産育児一時金・埋葬料（費））について、申請受付から振込まで10営業日以内に完了させることをサービススタンダードとして定め、100%の達成を目指す。

2. 現金給付の適正化の推進

- 保険給付の適正化に向け、不正請求等の疑義のある現金給付の申請について、支部プロジェクトチーム会議（四半期に1回開催）で事業所への立入調査等の対応策を検討した。

⇒令和5年度上期においては、立入調査が必要な疑義案件はなかった。

【参考】令和4年度・・・立入調査が必要な疑義案件なし。

【実績における評価の表記について】

◎：KPIを5%以上上回る進捗である

○：KPIを0～5%上回る進捗である

△：KPIを下回る進捗である

3. 柔道整復師の施術に係る給付適正化の取組

令和5年度 KPI	実 績		
	令和5年度 (9月末)	令和4年度	<参考> 令和4年度 全国平均
0.40%以下	0.43% △	0.40%	0.86%

施術箇所3部位以上、かつ月15日以上の施術の申請の割合
※対前年度以下とする

●接骨院等の受診者への施術状況照会文書の送付

- ・柔整審査会で不正疑義のあった施術所の利用者（特に、3部位負傷、かつ1か月当たり15日以上施術を受けている者）に対し、施術状況を文書にて照会し、回答された負傷原因や負傷部位等と申請書内容との整合性を確認した。

令和5年度 照会実績・・・ 4,613件（令和5年9月末時点）

【参考】令和4年度・・・ 7,272件

4. 限度額適用認定証の利用促進

●医療機関等への申請書の設置

- ・加入者への広報や医療機関及び自治体（市町）への申請書設置によって、限度額適用認定証の利用促進を図り、加入者の医療機関窓口における自己負担軽減を図る。

限度額適用認定証交付申請書送付依頼・・・ 4月から9月末まで**4,820**件

設置協力医療機関及び調剤薬局の数・・・ 4月から9月末まで**53**機関（広島県内）

【実績における評価の表記について】

◎：KPIを5%以上上回る進捗である

○：KPIを0～5%上回る進捗である

△：KPIを下回る進捗である

5. 現金給付等の申請に係る郵送化率の向上

令和5年度 KPI	実績		
	令和5年度 (9月末)	令和4年度	<参考> 令和5年度 (9月末) 全国平均
96.0%	91.5% △	90.7%	95.5%

	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	令和5年度上期
窓口受付件数	1,510	1,292	1,350	1,305	1,298	1,293	8,048
郵送化率	91.2%	92.0%	92.1%	91.3%	91.4%	91.1%	91.5%

6. 被扶養者資格の再確認の徹底

令和5年度 KPI	実績		
	令和5年度	令和4年度	<参考> 令和4年度 全国平均
94.0%	- %	93.4%	91.3%

被扶養者資格の再確認の対象事業所からの提出率

・医療費及び高齢者医療制度への支援金等の適正化を目的に、被扶養者が、現在も資格を充足しているかの再確認を実施している。

✓実施期間 令和5年10月～12月 (提出期限 令和5年12月8日)

✓対象事業所数 31,522事業所

【参考】 (令和4年度)

対象事業所数 : 32,034事業所 (広島支部)

被扶養者削除数 : 2,285人 (広島支部) 78,264人 (全国)

高齢者医療制度への負担軽減額 : 約9億円

(2) レセプトグループ

【実績における評価の表記について】

- ◎：KPIを5%以上上回る進捗である
- ：KPIを0～5%上回る進捗である
- △：KPIを下回る進捗である

1. 債権回収の取組

令和5年度 KPI	実 績		
	令和5年度 (9月末)	令和4年度 (9月末)	<参考> 令和5年度 (9月末) 全国平均
70.34%以上	51.17% ○	46.34%	33.26%

返納金（資格喪失後受診に係るものに限る）の回収率
※対前年度以上とする

令和5年度 (9月末) 債権発生・回収状況				金額ベース			
	期首残高 (単位：千円)	新規発生 (単位：千円)	取消・消滅 (単位：千円)	回収 (単位：千円)	残 (単位：千円)	回収率	回収率 (R4年度9月末)
返納金	159,851	219,246	21,796	150,314	202,940	42.37%	35.44%
損害賠償金	509,949	133,298	60,146	112,036	549,212	19.21%	18.54%

● 主な債権発生理由

◀ 返納金 ▶

- ・健康保険資格喪失後に保険証を使用したことによる医療費支出分
- ・健康保険診療にかかる一部負担金の相違（差額請求）
- ・現金給付にかかる給付調整分（傷病手当金と年金の調整）や資格喪失後給付となった返納分
- ・保険医療機関にかかる厚生局指導に伴う保険請求返納分
- ・労働災害該当に伴う保険診療不該当分の返納 など

◀ 損害賠償金 ▶

- ・第三者からの暴行や交通事故などにより負傷した加入者の保険診療や現金給付にかかる健康保険給付分の賠償請求 など

● 早期回収に向けた取組

- ・通知1か月後に催告状を送付（保険者間調整案内同封）
- ・弁護士名による催告状を送付（月約50件）
- ・電話催告を実施（月約1,000件）
- ・法的対応を実施（件数右掲載）
- ・高額債権者への個別通知を実施（保険者間調整案内同封）

	支払督促	強制執行（差押による収納）
令和4年度 (9月末)	18件	6件 (60万円)
令和5年度 (9月末)	8件	7件 (31万円)

● 返納金の保険者間振替の実施状況（令和5年度上期）

- ・国保→協会けんぽへの支払・・・ 204件 30,122,344円
 - ・協会けんぽ→国保への支払・・・ 1,377件 31,891,124円
- (令和4年度9月末： 226件 26,106,134円)
(令和4年度9月末： 467件 15,612,581円)

【実績における評価の表記について】

◎：KPIを5%以上上回る進捗である

○：KPIを0～5%上回る進捗である

△：KPIを下回る進捗である

2. 債権発生防止の取組（保険証回収）

令和5年度 KPI	実績		
	令和5年度（9月末）	令和4年度（9月末）	<参考> 令和5年度（9月末） 全国平均
88.29%	84.70% △	87.60%	84.19%

日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率
※対前年度以上とする

- ・早期（資格喪失処理後2週間以内）の保険証回収催告状を送付（13,821件）
- ・回収不能届を活用した電話催告を実施（343件）
- ・無資格受診発生の事業所へ文書による保険証回収の勧奨を実施（263社）※年2回
- ・各種広報物へ保険証適正利用及び返却の案内を掲載

3. 効果的なレセプト点検の推進

令和5年度 KPI	実績		
	令和5年度（9月末）	令和4年度（9月末）	<参考> 令和5年度（9月末） 全国平均
0.303%以上	0.425% ◎ (基金0.233+協会0.192)	0.285% (基金0.172+協会0.113)	0.416% (基金0.259+協会0.157)

社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率
※対前年度以上とする

令和5年度 KPI	実績		
	令和5年度（9月末）	令和4年度（9月末）	<参考> 令和5年度（9月末） 全国平均
14,763円以上	19,590円 ◎	13,707円	7,776円

協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額
※対前年度以上とする

●内容点検

- ・入院や外来の高額レセプト点検の推進、ベテラン点検員による若手点検員への指導等により全体のレベルアップを図った。
- ・基金協議会の場に限らず、支払基金と日常的に連絡を取り合う中で意見交換を行い相互の連携を強化した。

●資格点検

- ・速やかな資格点検による過誤レセプト返戻と債権調定を実施（令和5年度：点検件数上半期約2.2万件・債権調定約3,200件）

●外傷点検

- ・外傷性疾病の負傷原因照会などにより、求償及び返納対象の保険給付を確認した。
(令和5年度：上半期照会件数約7,300件・債権調定約726件)

【実績における評価の表記について】

◎：KPIを5%以上上回る進捗である

○：KPIを0～5%上回る進捗である

△：KPIを下回る進捗である

(3) 保健グループ

1. 健診実施率向上の取組

★インセンティブ制度指標①

		令和5年度 KPI	実 績		
			令和5年度	令和4年度 (同月値)	令和4年度 KPI
被保険者 (40～74歳)	生活習慣病予防健診	62.4%	25.2% △ (107,907人/428,145人)	24.3% (105,078人/430,846人)	58.6%
	事業者健診	10.5%	3.5% △ (14,844人/428,145人)	3.1% (13,230人/430,846人)	10.5%
被扶養者 (40～74歳)	特定健診	35.0%	12.0% △ (13,490人/112,535人)	9.4% (10,715人/106,924人)	35.0%

※生活習慣病予防健診は8月受診分まで、事業者健診は9月取込み分まで、特定健診は9月取込み分までの実績。

●生活習慣病予防健診の実施率向上のための取組状況

- ・ 県と連携した生活習慣病予防健診への切替に係る訪問勧奨。県のアドバイザーが249事業所へ訪問（4～10月合計）。
- ・ 生活習慣病予防健診の集団健診を12会場で開催し、484人が受診（7～10月合計）。11～2月にかけて28会場で開催予定。
- ・ 生活習慣病予防健診の利用率が低い事業所で加入している被保険者個人への文書勧奨を実施（6月）。

●事業者健診結果データの取得率向上のための取組状況

- ・ 県及び労働局との三者連名による文書・電話勧奨を3,888件実施（9月）。同意書124社分、紙媒体での健診結果751人分を取得。
- ・ 事業者健診実施件数が多く、覚書未締結の健診機関への契約締結に向けた訪問等勧奨を実施（8月）。
- ・ 生活習慣病予防健診への切替勧奨の実施に合わせた事業者健診結果データの取得に係る文書・電話勧奨の実施。

●特定健診の実施率向上のための取組状況

- ・ 支部主催の集団健診を県内54会場で実施（6～10月合計）。受診者数4,909人（対前年同期比201.1%）。
- ・ より魅力的なオプション等の内容で健診の受診意欲の向上を図った「健康づくりの好循環」イベントを初めて開催（6月）。受診者数610人。6月開催の結果を踏まえ、11月に本格開催。受診者数1,203人（1日の1会場当たりでの受診者数は全国最多の見込み）。

【実績における評価の表記について】

◎：KPIを5%以上上回る進捗である

○：KPIを0～5%上回る進捗である

△：KPIを下回る進捗である

2. 特定保健指導実施率向上の取組

★インセンティブ制度指標②

	令和5年度 KPI	実績（9月末）	
		令和5年度	令和4年度
被保険者	38.0%	8.7% △	8.6%
被扶養者	23.4%	3.7% △	8.2%

	令和5年度			令和4年度（参考）	
	対象者数	初回面談数	終了数	初回面談数	終了数
被保険者	63,659	7,749	5,519	7,089	5,302
被扶養者	3,702	114	137	168	306
合計	67,361	7,863	5,656	7,257	5,608

【特定保健指導】
40～74歳の健診受診者で、健診結果によりメタボリックシンドローム予備群、又は該当者となっている方に対して実施する保健指導。

（3か月以上経過後）を終了した者である。

●特定保健指導の実施率向上のための取組状況

- ・健診当日（検診車を含む）における保健指導の体制構築を含めた実施促進を実施機関に文書及び訪問により依頼。
- ・各実施機関への定期的な実績の情報提供を通じた進捗管理の徹底。中断率の低減等効果的な事業実施のための働きかけを実施。
- ・県及び労働局との三者連名による未利用事業所への文書勧奨を2,437件実施（9月）。順次、実施に向けて日程調整中。
- ・大規模事業所への訪問・電話による利用勧奨の実施。
- ・（被扶養者）集団健診会場における当日実施の強化。集団健診会場での初回面談実施者数343人（4～8月合計）。

3. 未治療者の医療機関受診率向上の取組

★インセンティブ制度指標④

令和5年度 KPI	実績（参考値）		
	令和4年4月～令和4年9月健診分	令和3年4月～令和3年9月健診分	<参考> 全国平均 (令和4年4月～令和4年9月健診分)
13.1%以上	7.90% △	8.79%	9.44%

【未治療者の医療機関受診率】
健診の結果、血圧値or血糖値が要医療に該当し、健診から3か月以内の医療機関受診がない方に対し、健診受診から6か月後に受診勧奨通知を送付し、送付から3か月以内の医療機関受診率

●未治療者の医療機関受診率向上のための取組状況

- ・生活習慣病予防健診実施機関のうち40機関にて健診後の早期における医療機関への受診勧奨を5,954件実施（4～9月合計）。
- ・未治療者への医療機関受診勧奨のための漫画チラシの作成及び配布。

(4) 企画総務グループ

【実績における評価の表記について】

◎：KPIを5%以上上回る進捗である

○：KPIを0～5%上回る進捗である

△：KPIを下回る進捗である

1. 健康経営推進への取組

●ひろしま企業健康宣言へのエントリー状況

- 令和5年度ひろしま企業健康宣言エントリー事業所数 目標：KPI 4,200事業所

令和5年度 KPI	実績	
	令和5年度（9月末）	令和4年度
4,200	4,287◎	4,015

●令和5年度健康づくり優良事業所認定の実施

- ひろしま企業健康宣言事業所に対して、令和4年度取組状況の報告（チェックシート）に基づき、認定基準を充足した事業所を、「令和5年度健康づくり優良事業所」として認定し、認定証を送付。（令和5年8月21日認定）
- 取組状況を点数化した認定基準（60点以上の事業所を認定）の合計点数に応じて★の個数（最高は5個）を認定証に掲載。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認定事業所数 (対象事業所数)	771 (1,560)	1,436 (3,056)	<u>1,979</u> (4,004)

※対象事業所は、令和4年度以降は前年度末まで、令和3年度までは前年の12月31日までにひろしま企業健康宣言エントリーした事業所

認定証の表示（★の個数）	点数	認定事業所数
★★★★★（ゴールド）	90点以上	709社
★★★★（シルバー）	75点以上90点未満	820社
★★★（ブロンズ）	60点以上75点未満	450社
	合計	1,979社



ひろしま企業健康宣言
健康づくり優良事業所

●い・ろ・か（ひろしま企業健康宣言通信）の送付

- ひろしま企業健康宣言事業所に対して、健康経営や健康づくりに関する記事を掲載した季刊誌「い・ろ・か（ひろしま企業健康宣言通信）」（全24ページの冊子）を送付。
【発行月】 令和5年4月（春号）、令和5年6月（夏号）、令和5年9月（秋号）

●ラジオでのPRの実施

- RCCラジオと広島市・協会けんぽがタイアップして「広島家族。元気じゃけんいきいきプロジェクト」を実施。RCCラジオ「おひるーな」の「おひるーなプラス！」のコーナーに出演し、健康経営等についてPRを実施。
【出演日等】 「健康経営を始めよう！～協会けんぽのサポート～」（令和5年8月30日） 企画総務グループ職員が出演

1. 健康経営推進への取組

●関係機関への会報誌、ホームページ等への掲載依頼

- ・関係機関の会報誌やホームページ等に、経済産業省の健康経営優良法人2024の申請期間（令和5年8月21日受付開始）に合わせて、健康経営やひろしま企業健康宣言、健康経営優良法人に関する記事掲載を依頼。

<掲載関係機関>

広島県（HP掲載）・広島商工会議所（9月号）・福山商工会議所（9月号）・尾道商工会議所（9月号）・呉商工会議所（9月号）
府中商工会議所（9月号）・三原商工会議所（9月号）・東広島商工会議所（9月号）・因島商工会議所（8月号）
庄原商工会議所（9月号）・竹原商工会議所（9月号）・大竹商工会議所（9月号）・広島県商工会連合会（HP掲載）
広島県中小企業団体中央会（9月号）・広島県社会保険労務士会（9月号）・広島県社会保険協会（8月号）
広島産業保健総合支援センター（HP掲載） ・広島経済レポート（9月14日） ・経済レポート（9月19日）

●健康経営優良法人サポートブック2024の配付と申請サポート

- ・経済産業省の健康経営優良法人2024について、事業所における申請をサポートするため、「健康経営優良法人サポートブック2024（中小規模法人部門）」（32ページの冊子）を作成し、ひろしま企業健康宣言事業所に配付（令和5年9月4日送付）。
- ・健康経営優良法人2024に関する申請サポート動画をYouTubeに掲載（令和5年9月13日掲載：2動画計で約500回視聴）。

●健康経営セミナー等への登壇・説明

健康経営フォーラム（アクサ生命）（4月13日）・健康経営カードゲーム体験会（大塚製薬・あいおい生命）（5月10日）
社労士会勉強会（5月15日）・広島県スタートセミナー（6月14日、7月21日、8月28日）・広島県継続セミナー（9月26日）
社会保険担当者養成講座（社会保険協会）（7月5日、7月7日）・優良認定事業所表彰式及び健康づくりセミナー（東広島市）7月6日
ACTIONセミナーin広島（経済産業省・日本経済新聞社）（9月8日）

●協力事業者との連携

- ・協力事業者15社に対して、令和5年度における健康経営普及に関する計画書を提出依頼（令和5年4月）。
計画書提出後、適宜意見交換を実施し、健康経営普及に向けて連携。

●健康づくり講座の実施

- ・従業員の健康づくりに積極的に取り組む事業所を支援する目的で、生活習慣病予防・メンタルヘルス・運動・禁煙・女性の健康課題をテーマに「健康づくり講座」を実施（事業所訪問・オンライン可）。

【申込事業所】131社（令和5年9月末時点）

●職員及び外部委託業者によるエントリー勸奨

- ・支部正規職員によるひろしま企業健康宣言エントリーの事業所訪問勸奨を実施。14件獲得（令和5年6月から8月）。

●健康経営の取組課題としてのメンタルヘルス対策に関する事業所実態調査

- ・令和5年度第1回評議会にて、分析結果を公表。「ACTION！健康経営」（日本経済新聞社）に好事例として掲載（令和5年7月）。
- ・分析結果をわかりやすく説明した「健康経営の効果とメンタルヘルス対策リーフレット」を健康宣言事業所に配付（令和5年8月）。
- ・令和5年度調査研究報告書（本部において制作）に応募し、分析結果掲載（令和5年12月；参考資料2参照）。

2. 健康保険委員の委嘱状況

●全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合

令和5年度 KPI	実 績		
	令和5年度（9月末）	令和4年度	<参考> 令和4年度 全国平均
66.0%	67.3% ◎	65.1%	50.8%

●健康保険委員の委嘱数

- ・令和5年度健康保険委員数目標：11,407名（年間1,500名増加）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度（9月末）
委嘱数	7,790	9,907	10,831

●健康保険委員の登録に向けた文書勧奨

【勧奨月】令和5年4月 【対象】広島支部加入事業所（納入告知書同封チラシにて勧奨）

⇒【結果】健康保険委員新規委嘱数 197名（令和5年9月末）

【勧奨月】令和5年6月～毎月 【対象】新規適用事業所

⇒【結果】健康保険委員新規委嘱数 108名（令和5年9月末）

【勧奨月】令和5年8月 【対象】健診受診率15%未満被保険者7名以上 約1,800社

⇒【結果】健康保険委員新規委嘱数 203名（獲得率11.2%）

●外部委託業者による電話勧奨

【勧奨月】令和5年8月～9月

【対象】健診受診率15%以上被保険者10名以上 約2,800社

⇒【結果】健康保険委員新規委嘱数 243名（獲得率8.7%）

●健康保険委員だよりの発行

「健康保険委員だより」を発行し、健康保険委員に対して情報提供を行った。

【内容】令和5年7月発行：協会けんぽガイドブック（総合パンフレット・申請書の書き方）、ストレッチ&筋トレリーフレット など

●ジェネリック医薬品の使用割合

令和5年度 KPI	実績		
	令和5年度（7月末）	令和4年度（7月末）	<参考> 令和5年度 全国平均（7月末）
80.0%	81.3% ○	79.2%	82.6%

●ジェネリック医薬品の使用促進に向けた各種広報

- ・9月16日よりCM広告（15秒）・Web広告・LP広報、新聞広告（9月30日：中国新聞朝刊、11月23日・25日：中国新聞SELECT）、テレビ出演（松原支部長）
 - HOME（5ch、日本テレビ系列）：令和5年11月11日（土）9：40「ピタニューサタデー」120秒
 - TSS（8ch、フジテレビ系列）：令和5年11月24日（金）10：50「満点ママプラス」60秒
 - RCC（3ch、TBS系列）：令和5年11月24日（金）16：25「イマナマ！」45秒

●お薬手帳アプリによるジェネリック医薬品軽減通知

- ・処方箋受取り時に、ジェネリック医薬品に切替えた場合の軽減額をお知らせすることができる「お薬手帳アプリ」を導入（広島支部加入者が対象）。お薬手帳アプリの使用促進のため周知チラシを配布。HPやメールマガジンにも掲載し、周知を実施（令和5年8月から開始）。

●医療機関及び保険薬局へのジェネリック医薬品の使用状況に関するお知らせの送付

- ・医療機関及び薬局に対して、個別のジェネリック医薬品の使用状況のお知らせ（本部提供「見える化ツール」）、医薬品実績リストを送付した。併せて希望された医療機関及び薬局には、広島県及び広島県薬剤師会との三者連名による使用促進ツール（ポスター、ジェネリック医薬品希望シール及びミニのぼり）も送付し、ジェネリック医薬品使用促進協力依頼を実施した（令和5年7月）
 - 【対象数】 数量1,000以上の調剤実績のある2,111医療機関と1,422保険薬局

●事業所へのジェネリック医薬品の使用状況に関するお知らせの送付

- ・被保険者数5名以上の18,520事業所を対象に、ジェネリック医薬品希望シール（支部独自：サンフレッチェ版）、ジェネリック医薬品希望シール希望申請書（FAX依頼用紙）、お薬手帳アプリ周知チラシを同封し、当該事業所におけるジェネリック医薬品使用促進に関する協力依頼を実施した（令和5年9月）。

●ジェネリック医薬品希望シールの作成

サンフレッチェ広島のマスコットキャラクターを使用したジェネリック医薬品希望シールを作成し、医療機関や保険薬局、事業所へ配布し使用促進を図った。

【作成枚数】70,000枚 【配布枚数】59,930枚（医療機関・薬局・事業所）

●ジェネリック医薬品の安定供給について

- ・日本ジェネリック製薬協会より適宜情報提供あり。
- ・一部の医薬品（先発含む）について、出荷調整・供給不足が続いている。

4. その他の取組

●地域の医療提供体制等の働きかけや医療保険制度にかかる意見発信

- ・広島県医療審議会保健医療計画部会において、広島県は癌に罹患される割合が高いこと及びがん検診の受診率が芳しくないことから、今後も県をはじめ関係機関と連携し、がん検診の受診勧奨を行って戴きたい旨の意見発信を行った。

●調査研究の推進

- ・令和3～4年度における新型コロナウイルス新規感染者数と1人あたり医療費（令和5年7月）
- ・健康経営の取組課題としてのメンタルヘルス対策に関する事業所実態調査（令和5年7月）
- ・広島県の地域医療の現状について（令和5年8月）
- ・歯周炎と全身疾患に関する疫学研究（広島大学・奈良先端科学技術大学院大学と共同研究中）

●一般競争入札に占める一者応札案件の割合について

令和5年度 KPI	実績		
	令和5年度（9月末）	令和4年度（9月末）	<参考> 令和5年度 全国平均（9月末）
20.0%以下	33.4% △	39.2%	14.3%

【要因】仕様書の変更（参加資格の厳格化等）と、前年度の落札額をみての入札参加辞退が主な要因と考えられる。

【対策】一者応札となった調達案件に対し、仕様書並びに調達方法を再検討し、一者応札率低減に努める。